

神奈川高齢者生協機関紙 2018年7月号 NO.182

発行責任者 吉田 隆幸

〒231-0047

横浜市中区羽衣町2-7-10 関内駅前マークビル5階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

Eメール [kanagawa-coop@koureikyou-k.com](mailto:kanagawa-coop@koureikyou-k.com)

神奈川高齢者生協

検索

## 第13回通常総代会を開催しました

いかに生き残っていくか、真剣に事業計画作りに取り組んでいます。具体的には採算の厳しい小規模デイみのりの閉鎖、いたど配食サービスの縮小、利用高を伸ばすためのケアマネージャーへの営業力強化、障害者サービスへの拡大や原価率の低減、生産性向上等を進め、結果をどう出すのか、本部と事業所が真剣に取り組んでいます。理事も職員も、黒字を出すか、必要な給与を確保できるか、これを達成できる事業所だけが生き残れます。この様に今年度は当生協にとって試金石の年です。この難局を新体制の理事会、職員一同が一丸となつて乗りきつていきたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願いします。

さて介護に関する話が続きましたが、本来生協の役割として人生100年時代が見えている時期に、元気な高齢者がもつと元気に活動が必要ですが、介護事業に追われその点おろそかになっています。しかし平塚地区では大蔵理事の指導の元、地域との交流イベント・活動を進めて頂いています。80歳ぐらいから虚弱な方が増えてきますが、いかに家に閉じこもらないで健康寿命を延ばすか、大きな課題です。80歳過ぎてくると、精神的にも肉体的にも老化現象とともに衰えてまいりますが、特に足腰が弱つくると、家に閉じこもりがちになります、また一人暮らし、2人暮らしの孤独環境も増えます。こうなると社会とのつながりや、会話の機会が少くなり、認知症の方も増えます。この点でも他の地区も、デイ事業所等を利用して、サロンの集まりの場を広く展開できればと考えます。そのためには組合員で世話を役のリーダーが育てばとも思っています。どうぞ今年もこの様な方向で頑張ってまいりますので、応援宜しくお願ひします。「清聴ありがとうございます。」



理事長あいさつ (要旨)

神奈川高齢者生協理事長 吉田 隆幸

私たちも介護事業者にとっての社会環境は、超高齢社会で後期高齢者の増大から介護需要は益々右肩上がりになりますが、国の財政難も影響し、介護保険制度改革や介護報酬の面で、また人材確保の面で厳し

しを増しています。当生協もここ数年厳しい状況が続いており、昨年は職員の賞与削減のご協力を頂いても2271万円という赤字を出す状況になりました。この結果に対しても理事長をはじめ理事一同責任を重く受け止めています。

いかに生き残していくか、真剣に事業計画作りに取り組んでいます。

具体的には採算の厳しい小規模デイみのりの閉鎖、いたど配食サービスの縮小、利用高を伸ばすためのケアマネージャーへの営業力強化、障害者サービスへの拡大や原価率の低減、生産性向上等を進め、結果をどう出すのか、本部と事業所が真剣に取り組んでいます。理事も職員も、黒

字を出すか、必要な給与を確保できるか、これを達成できる事業所だけが生き残れます。

この様に今年度は当生協にとって試金石の年です。この難局を新体制の理事会、職員一同が一丸となつて乗りきつていきたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願いします。

さて介護に関する話が続きましたが、本来生協の役割として人生100年時代が見えて

いる時期に、元気な高齢者がもつと元気に活動が必要ですが、介護事業に追われその点

おろそかになっています。しかし平塚地区では大蔵理事の指導の元、地域との交流イベン

ト・活動を進めて頂いています。80歳ぐらいから虚弱な方が増えてきますが、いかに

家に閉じこもらないで健康寿命を延ばすか、大きな課題です。80歳過ぎてくると、精神

的にも肉体的にも老化現象とともに衰えてまいりますが、特に足腰が弱つくると、家に

閉じこもりがちになります、また一人暮らし、2人暮らしの孤独環境も増えます。こうな

ると社会とのつながりや、会話の機会が少くなり、認知症の方も増えます。この点でも

他の地区も、デイ事業所等を利用して、サロンの集まりの場を広く展開できればと考えま

す。そのためには組合員で世話を役のリーダーが育てばとも思っています。どうぞ今年もこ

の様な方向で頑張ってまいりますので、応援宜しくお願ひします。「清聴ありがとうございます。」

## 来賓から頂いたご挨拶（要旨）



日本高齢者生協連合会副会長  
東京高齢協理事長 田尻 孝二氏

事前に総代会の議案書を拝見させていただき、大変厳しい数字が並んでいるのと、1年間の事業報告の中で、いろんな取組みをされてこられたのだなと、敬意を表します。

今、全国の高齢協をめぐる経営環境は、大変厳しくなっています。私が連合会の役員になつて10年が経過しますけれど、当初はまったく経営問題なんものは、話題にもならなかつたわけです。ところが今期については全国の高齢協の1／3が赤字経営になつています。首都圏、大都市圏の生協はどこも非常に苦戦をしています。

それで今のこの状況では、私たちに悪い事ばかりなんかというとそんな事はないと思います。これから地域の力でお互いに助け合つて、皆がお互いに支え合えるような地域社会を作ろうという時代がきているのです。たとえば、私たちの組合員の力、神奈川でいえば、孫の手のような地域で支えるしくみをというのは、私たちがもつている非常にプラスな財産のわけです。だからその部分を伸ばして行くことが、私たちのこれから先の進路を考える上で大きな力につながっていくと思います。

今、東京・埼玉・神奈川にいろいろ声をかけさせてもらつて協力しあえるところはお互いに助け合つてやつていこうと思つています。是非皆様も一緒にがんばっていきましょ。



神奈川県生協連合会  
事務局長 相田 祐二 氏

今年は6年に1度の診療報酬と介護報酬のダブルでの改定が4月にございました。高齢者生協は、事前に準備をされておりましたので、2017年度の経営状況は、非常に厳しかったという御報告が、先ほどございましたが、報酬が変わってからの4月からは、特にトラブルも無く進んでいるとお聞きしております。

介護事業分野では、人手不足がどの会社やどこの生協でも深刻な状況で、このようなかで奮闘をされている高齢者生協、とりわけ事業所の現場で働く皆様の御奮闘に、心より敬意を表したいと存ります。

さて、日本の社会環境は、貧富の格差や社会的な孤立に加え、人口減少や少子高齢化、就労困難な若者の増加等が問題となっていますが、今年の4月1日に日本協同組合提携機構JCAと呼んでいますが、こういう新たな組織が発足しました。これは日本生協連と主にJAさんが中心になつて約2年かけて準備をして発足したものです。このJCAの目的は人口減少や、少子高齢化というような、私たちが直面する様々な問題・課題に対して協同組合が連携を強化して取組み、地域で果たす役割を広げていくという事が目的です。

世界でも協同組合が非常に高く評価され、国連においても、持続可能な社会を形成するために、協同組合の役割が必要であると明記されています。介護福祉の分野は、協同組合の事業やその考え方は決して民間では真似のする事ができないものと思います。引き続き生協らしい取組みをすすめながら、地域住民の皆さんのが役に立ち続けていただきたいと願つております。

## 第12回通常総代会の発言集（要旨）

### 平塚地区の組合員活動

平塚地区総代 三浦 律子さん



昨年の生協強化月間に、たむら通所事業所を会場にして、「楽しい集い」を開催しました。テー

マは「芸術の秋」、組合員や地域の愛好家にもお誘いし、多数の手作り作品が出品されました。水彩画、絵手紙、

押し花、野鳥の写真、木目込み人形、吊るし雛等々をにぎやかに展示しました。地元農家の野菜・果物コーナーは大人気で、追加で畑に収穫に行かれるほどでした。開会セレモニーでは、「おばあちゃんの下取り」などの朗読に笑いと涙があり、尺八の演奏では黒田節を、会場を埋めた60人の大合唱となりました。当日4名の新規加入者もあり、仲間が増えました。これからも元気な高齢者が益々元気に過ごせるよう、楽しい企画に取り組んでいきます。

### ケアステーション森の里の現状と 2018年度の取り組み

厚木地区総代 石橋 智美さん



森の里の現状は、昨年度からの営業活動の成果もあってか、少しづつ近隣の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所より、新規の問い合わせや依頼を頂けるようになっています。厚木市内には10の「包括」があり、現在はそのうち、4カ所の地域を担当しています。事業所のあるビルズには、153世帯中100世帯弱の方が入居されています。その内、介護保険を利用して、ご利用頂いている方は3名です。ビルズ内だけなく、近隣の地域

の利用者の方を増やすことが課題となっています。せっかくの依頼を断ることなく受け入れられるよう、職員の人員確保が大きな課題となっています。今年度は特に職員の採用に力を入れ、更に利用者の拡大、予算の達成に向け取り組んでいきます。

### 川崎中部ヘルパーステーションの取り組み

川崎南地区総代 渡邊 順子さん



私は今まで介護の仕事を8年ほどやってきましたが、経営が安定した職場ばかりでした。売り上げを伸ばすというよりも、仕事を選んで受けていました。また管理者の経験はありません。数字を意識して仕事をしたこと也没有。この生協に足を踏み入れてしまった以上、この私に出来ることをずっと考えてきました。問題点もいくつか見えてきましたので、その問題点を改善する努力をしているところです。

実務作業の効率の改善をすすめています。実務作業を軽減し、モニタリングをより充実させています。しっかりとモニタリングや介護計画書をケアマネに届けることで、ケアマネから信頼して頂き、新規利用者の依頼が増えています。

そして、居心地の良い事務所づくりをすすめています。ヘルパーさんが、ゆっくり作業できる場所を作りました。利用者の方の様子を聞いたり、仕事の悩みを聞く機会が増えました。こうしたことでの新規の依頼をお願いしやすくなりました。ヘルパーさんは高齢の方が多いのですが、家事の手際の良さ、丁寧さ、それは経験を積んできたからこそできる技です。自慢のヘルパーさんたちです。これからも、皆さまの意見を頂きながら、精進していきたいと思います。

## 第12回通常総代会の発言集（要旨）



個別機能訓練の取組み  
伊勢原地区総代 西村さん

いたど通所事業所は昨年度、行政より個別機能訓練加算において、加算要件の不備の指摘を頂き、報酬の全額返還を余儀なくされた経緯があり、それ以降は指摘事項の修正と、訓練内容の充実を目指し、現在まで取り組んでまいりました。個別機能訓練加算に必要とされる3ヶ月に1度の在宅アセスメントの実施、機能訓練計画の策定・実施・評価のPDCAサイクルにそつて実施してきました。実施体制は、スタッフ全員が3～5人のグループに分かれ、それぞれ1人～2人の利用者の方の担当となり、在宅アセスメント、機能訓練計画の策定・評価を行なつております。

訓練の実施に当たっては、当日の利用者の方の身体状況を踏まえて、本人にとつて無理のない内容と量、及び負荷の調整を行なつております。



研修を通して事業所の成長  
伊勢原地区総代 小林 雄一さん

いたど訪問は、ここ数年順調に利用者が増え、利用高も毎年右肩上がりに増えています。スタッフも約40名のヘルパーが、日々高齢者や障害者の方々の支援に努めています。

仕事の依頼の多くはケアマネさんや障害の相談員さんからですが、いたど訪問は、そのケアマネさんや相談員さんが少ないと感じられるケアに繋がるのではないかと考えています。いたど訪問ではこういった観点から身体介護技術の研修に力を入れています。

信頼を得る要因としては、例えば仕事がたくさん受けられる事業所の規模や、連絡や報告がしっかりとしている事だとか様々あると思いますが、何より重要なのは実際ケアに入っているヘルパー個々の資質だと考えています。

ヘルパー一人ひとりの技量を把握し、少しでも高いレベルで揃える為に、いたど訪問で重点を置いているのが研修になります。外部でやる研修にも積極的に行って貰うように働きかけていますが、内部、いわゆる事業所内での研修にも重点を置き継続的に実施しています。

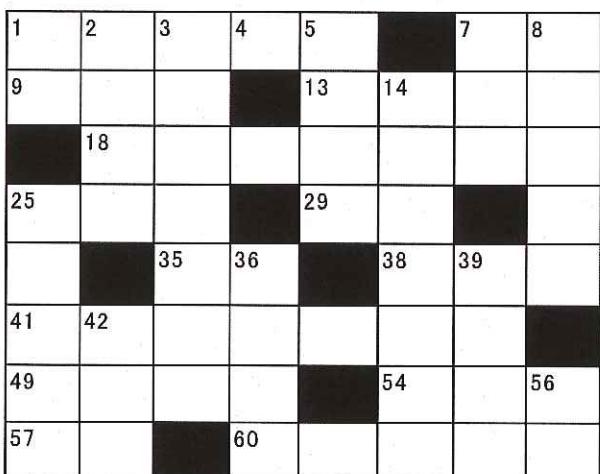
内部研修の場としては月一回、基本的にヘルパー全員に出席してもらうヘルパー会議の中で、研修の時間を設けて実施しています。研修の内容でここ1～2年重点を置いて実施しているのが、身体介護技術の実技研修です。今まで実施した内容では、食事介助や手浴、清拭、移動・移乗介助の実技など、研修では二人一組になり、ケアする側とされる側をお互い両方やつてもらう形式をとり、実施しています。ここで重要なのがケアされる側、いわゆる利用者の方の体験をすることです。いくら知識があり手際よくやり、自分ではこうやれば楽だろう、心地よいだろう、負担を掛けずにできているだろうと思つてケアをしても、実際利用者の方がどう感じているのかは、自分が同じように体験してみないとわからないものです。

こういった研修をすることでケアする側の独りよがり、自己満足なだけのケアではなく、より利用者の方が心地よい、負担が少ないと感じられるケアに繋がるのではないかと考えています。いたど訪問ではこういった観点から身体介護技術の研修に力を入れています。

# クロスワード

よみびとしらず作

難しい漢字がでてきます。さあ挑戦!!



## ヨコのカギ

- 1 自分の親を大切にせず迷惑をかけること。  
 7 サイズ、Sの次。  
 9 ボリビアの首都。  
 13 ドミニカの首都はサント・〇〇〇〇。  
 18 冬、寒い日が続いた後に暖かい日が続く現象。  
 25 緯度の対義語。  
 29 一年で最も昼が長くなる日。  
 35 〇〇鯖。〇〇切り  
 38 常緑樹。取れる油は整髪料等に使われる。  
 41 人の気をひきつける短い謎い文句。  
 49 アベックと昔は言っていた。  
 54 見た目の体格。〇〇〇のいい男。  
 57 魚、足10本、スミも食用。  
 60 クロスワードはこれを埋めて完成。

わ	た	な	べ	ま	ゆ		は
せ	ん	し		つ	う	が	く
た	い			ざ	い		ほ
	み	ず	か	さ			う
あ	な	こ	ん	だ		す	し
け		し	だ	い		い	よ
ぼ	あ		も	す	く		う
の	み		ち	け	つ	と	

言葉を全部うめて下さい。

締め切りは8月20日（当日消印有効）  
 解答を、葉書かFAX045-662-9662で本部までお送り下さい。  
 お便りや趣味の作品の投稿も合わせてお寄せ下さい。正解者には抽選で、5名様にクオカードを差し上げます。

## タテのカギ

- 56 42 39 36 25 14 8 7 5 3 2 1 武道で使う挨拶。  
 優曇華。伝説の植物。  
 英語・友情。  
 嫌つて憎むこと。  
 勢いづける目的で催される会。  
 言葉を発せず、身体の動きや表情だけで演じる劇。  
 アメリカで一番長い川。  
 化学で、-CH<sub>3</sub>と表されるアルキル基。  
 テレビ業界用語。売れる芸人と売れないと抱き合いで出演させること。  
 経度の対義語。  
 薬の価格。

## クロスワードの作品募集！

クロスワード以外の「頭の体操」的なものなら何でもOK!!です。

かがやいてに掲載させて頂いた方には、粗品ですが、お礼を差し上げます。

## 4月号の答

たくさんの方からお送り頂き、ありがとうございます。  
 抽選で5名様にクオカードをお送りさせて頂きました。

# 理事会たより・・・

2018年度第1回理事会 6月17日15時40分～15時45分 会場：神奈川中小企業センター

## 議決事項

理事長・副理事長・専務理事・常任理事の選任、代表理事の選任、顧問の選任について、下記のように決定しました。（敬称略させて頂きました）

理事長 吉田 隆幸（再）・代表理事

顧問 梅原健次郎

副理事長 星野 宗吾（再）

桑原 龍太

専務理事 矢吹 美樹（新）・代表理事

山岸 道子

常任理事 岡田 伸男（再）、岩田由美子（新）

## 理事

石橋 智美（新）

石井 吉弘（再）

小池 一成（再）

齊藤 知子（新）

鈴木 重光（再）

西山 直子（再）

乗松 美子（再）

三澤 正弘（再）

山口 朋子（再）

山森 靖（再）



退任された方……お疲れ様でした。



稲葉 壮二

高取 昭夫

大蔵 律子

寺岡 れい子

小瀬村和男

## 経営報告 4～5月の経営結果

組合員数 5月末組合員数 2,992名 4～5月累計加入数 52名、脱退数 18名

出資金額 5月末出資金額 3,434万円 4～5月累計増資額 59万円、減資額 5万円

利用高 4～5月実績 7,821万円 予算比 100% 前年比 103%

経常剰余 4～5月実績▲176万円 予算差－27万円

経常剰余予算未達成の要因は、訪問事業所の処遇改善費が予算以上となっていること、福祉移送の利用高が予算以上に伸びていることから、委託費が予算を超えて発生していること、消費税の不足分の支払などによる一般管理費の超過などによります。

訪問事業所の常勤職員の時間外労働の管理や福祉移送の収支管理の検討、通所事業所の新規利用者や利用回数増などによる利用高増のための取組みが課題です。